

公益財団法人 真生会館

2021年度1-3月期 事業計画書

自：2022年1月11日

至：2022年3月31日

目的(定款より)

「この法人は、学生及び社会人を対象とし、カトリックの精神に則り、その智徳を深め、また、豊かな知性と教養を涵養することを目的とする。」

2021 年度 1-3 月期の事業方針

2021 年度 1-3 月期も真生会館は、複雑で多様な日本社会の中にあつて、真摯に生きようとする学生・青年たちにキリスト教精神に基づく真理の光を提示して、日本社会および世界の真の発展・進歩に貢献できる人間の育成を図る。同時に、複雑で困難な社会の現実の中でさまざまな重荷を負いながら悩みもがく社会人に誠実にキリスト教精神に基づいた学びと交わりの場を提供し、日本社会と世界の安寧と平和に貢献することを目指す。

なお、2021 年度前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防に十分留意しつつ事業を行う。

I. 「キリスト教精神に基づいて、学生・青年と社会人に学びの場や出会いと成長の場を提供し、世界と日本の真の発展・繁栄に貢献できる人材を育成することを目的とする事業」(公1)

1. 学生・青年たちの育成事業

①学びの場、議論の場・交わりの場・楽しむ場・思索の場の企画

・真生会館の学生室などで、平日の夜にワカゲスタッフが企画したプログラムを開催し、学生や青年が参加する。企画は曜日ごとに、テーマや方式を変えて開催する。平日の 19:00～21:00 まで活動する。

本年度の学生スタッフは、10 名程度の予定で、平日スタッフが 2, 3 名企画の準備と運営を行う。

指導者が、引き続き学生スタッフとともに関わり、サポートする。

*各曜日の企画予定

(月曜日) インターナショナルマンデー

(火曜日) わかげ食堂

(水曜日) ほうかご!

(木曜日) もくもくいのり

(金曜日) まぢ金

- ・学期の最後に終業式としての集いを企画する。
- ・成人式など季節に応じた企画も開催する。
- ・来年度のスタッフ候補者と現スタッフとで、引継ぎのミーティングを開催する。
- ・「はつど」などワカゲの活動に関連した学生・青年グループに対して、会議や企画などで会場として真生会館の部屋を提供することにより協力する。

②海外の学生・青年活動との交流・連携

- ・2019年4月に上智大学アルペ国際学生寮が開設され、寮の留学生たちとワカゲの若者たちが、交流を続けている。本年度も、ワカゲの活動にアルペ寮から参加してもらい、アルペ寮での集まりにワカゲの青年たちも参加してもらおう。
- ・EAP(East Asia Program:東アジア研修会)など、アジアあるいは他の海外地域での企画に、ワカゲスタッフおよび青年たちが参加するよう支援する。

2. 豊かな人間性の涵養事業

①真生会館講座

- ・真生会館の講座は、四つの柱に沿った内容で企画する。
 - [Ⅰ. 現代人の生き方、社会を考える]
土曜講座、など。
 - [Ⅱ. キリスト教の光に人間の生き方を求めて]
日曜講座、など。
 - [Ⅲ. キリスト教文化、教養（音楽・読書・話し方・・・）]
「美術と聖書」、「音楽と祈り」、など。
 - [Ⅳ. キリスト教の源泉と遺産]
聖書コース、「ラテン教父」、初心者コース、など。

今期の講座は、1-3月の期間に開講する。

②外部の団体・公益法人・NPOなどとの連携、支援、協力

- ・定期的な会場使用として、DV被害家庭の子ども達のアートグループ「キッズ心のケアグループ」（主催団体:アップコンセプト）へ活動場所として、毎月会場を提供する。
- ・一時的な会場使用として、要望があった場合に趣旨やグループの背景を検討して、真生会館の活動目的に沿っていると判断したら、部屋を使用してもらおう。
- ・その他、真生会館と目的を同じくする団体には、支援・協力をおこなう。

Ⅱ. 上智大学国際学生寮の用地としての土地の賃貸事業(収1)

- ・学校法人上智学院への上智大学国際学生寮の用地として土地賃貸を事業として継続する。